

宇宙の創生とマルチバース

宇宙は無数にあるのか？
宇宙と人類の存在とは？
宇宙論研究をリードする佐藤勝彦氏が語ります。



佐藤 勝彦

自然科学研究機構・機構長

「宇宙は“無”の状態から量子的効果で生まれ、インフレーションと呼ばれる急激な膨張を経てビッグバン宇宙が作られた。」現代物理学によって描かれたこのパラダイムは宇宙が無数に創生されることも予言する。また、物理学の究極の統一理論と期待されている超ひも理論も多様な物理法則を持った宇宙が無数存在することを示唆している。無数に宇宙があることは今日マルチバースと呼ばれる。一方、私たちの宇宙はあたかも生命、人類が生まれるように物理法則が微調整された奇跡的存在にみえる。このように見えるのは「無数の宇宙の中で認識主体（人間）が生まれる宇宙のみが認識されるのだからそれは奇跡でもなく当然だ。」というのが人間原理の考えである。ここではこのような宇宙論の近年の発展を紹介したい。

開催日

2011年

6月10日 金

16:30～17:30

会場

岡崎コンファレンスセンター

講演前にコーヒータイムを設けています。
お茶やお菓子とともに談笑をお楽しみ下さい。

主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所

共催：財団法人 豊田理化学研究所

お問合せ：岡崎統合事務センター 総務課 TEL：0564-55-7123

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38番地

分子科学フォーラム

市民の方々に分子科学やその他の分野の第一線の研究成果をわかりやすく紹介する講座で、1996年に開講し年4回(2008年までは年6回)開催しています。



世界化学年 2011
分子科学研究所は世界化学年の趣旨に賛同しております。

<http://www.iyc2011.jp/>



名鉄名古屋本線岡崎駅下車、南(改札出て左側)に徒歩約10分、または名鉄バス①番乗り場から竜美丘循環で岡崎高校前下車徒歩2分。駐車場の数に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

